

## 「2025 年度学校健診後治療調査報告」の概要報告

全国保険医団体連合会  
地域医療対策部

### はじめに 「学校歯科治療調査」とは

2012 年に大阪のテレビ番組「歯科医院に行けない子ども・むし歯急増の陰に経済格差」の放映をきっかけに、大阪府歯科保険医協会が府内の小学校を対象に「学校歯科治療調査」を実施しました。その後、2018 年に 24 の保険医協会・保険医会が同様の調査を行いました。2019 年調査からは、歯科以外の学校健診についても学校健診後の受診実態の調査を行っています。

### 1. 学校健診後治療調査の回収率と対象数について

- ▼2019 年調査の回収率は、4.3%の回収率（全国 41 都道府県、1429 校）4～5 月調査
- ▼2020 年調査の回収率は、20.7%の回収率（31 都道府県、4923 校）2～3 月調査
- ▼2025 年調査の回収率は 19.5%（31 都道府県【北海道、岩手県、山形県、栃木県、千葉県、東京都、山梨県、新潟県、富山県、石川県、長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県】、4785 校）9～10 月調査

### 2. 調査方法および対象について

全国 31 都道府県内の保険医協会・保険医会において調査が実施されました。各保険医協会・医会において調査依頼および集計が行われました。一部、保団連からも各学校に調査依頼、集計を行っています。31 都道府県毎の分析等は行わず、全体の分析を行いました。

学校健診後治療調査の要受診率・未受診率

	2025 年調査 (9～10 月調査)		2020 年調査 (2～3 月調査)		2018 年調査 (4～5 月調査)	
	要受診率	未受診率	要受診率	未受診率	要受診率	未受診率
歯科	27.3%	66.8%	31.1%	62.3%	32.0%	57.0%
眼科	5.1%	57.4%	4.6%	55.4%	5.1%	47.6%
視力検査	34.9%	66.4%	36.9%	58.3%	33.3%	56.3%
耳鼻科	13.8%	57.2%	13.5%	57.4%	15.7%	50.8%
聴力検査	1.2%	49.6%	1.4%	41.2%	1.1%	35.0%
内科	3.0%	59.6%	3.7%	53.6%	3.6%	50.5%
運動器	1.5%	49.3%				

### 3. 各科における困難事例の詳細について

▼歯科 (22.9%、1094 校が「口腔崩壊の児童・生徒あり」と回答)

	2025 年度	2020 年度
口腔崩壊あり（前回は困難事例あり）	22.9%、1094 校	29.8% (4894 校中、1459 校)
口腔崩壊報告人数	2292 人 (0.19%)	3839 人 (0.3%)
困難むし歯が 10 本以上	93.6% (1024 校)	90.0% (1313 校)
未処置歯が何本もある	12.4% (136 校)	10.3% (150 校)

咀嚼が困難な状態である	3.0% (33校)	2.5% (37校)
その他	2.5% (27校)	3.6% (53校)

口腔崩壊あり（学校種別）

	2025年度	2020年度
小学校	24.0% (591校、1064人)	30.5% (811校、1621人)
中学校	14.1% (192校、340人)	19.6% (242校、608人)
高校	33.0% (210校、694人)	44.2% (314校、1406人)
特別支援学校	32.9% (76校、147人)	38.0% (78校、159人)
義務教育学校	29.8% (14校、34人)	16.0% (5校、2人)
(校種選択なし)	11校、13人	14校、43人

▼眼科（7.4%、352校が困難事例ありと回答）

	2025年度	2020年度
困難事例報告人数	3939人 (0.43%)	5025人 (0.6%)
困難事例あり	7.4%、352校	10.2% (4887校中、497校)
視力低下が多く、座席配置に困る	38.4% (135校)	40.4% (201校)
眼鏡が壊れたままになっている	13.6% (48校)	13.5% (67校)
視力低下放置で授業についていけない	15.9% (56校)	
その他	32.4% (114校)	41.6% (207校)

▼耳鼻科 2.8% (135校) が「困難事例あり」と回答。

	2025年度	2020年度
困難事例報告人数	480人 (0.06%)	468人 (0.1%)
困難事例あり	2.8% (135校)	3.3% (4869校中、160校)
中耳炎を放置して、耳垂れ	3.7% (5校)	8.8% (14校)
聴力低下放置で授業についていけない	45.9% (62校)	4.4% (7校)
その他	34.1% (46校)	50.0% (80校)

▼内科 10.2% (490校) が「困難事例あり」と回答。

	2025年度	2020年度
困難事例報告人数	1136人 (0.09%)	1504人 (0.1%)
困難事例あり	10.2% (490校)	12.2% (4871校中、592校)
肥満児童・生徒の増加	39.6% (194校)	32.9% (195校)
不登校児童・生徒の増加	27.1% (133校)	20.8% (123校)
心の問題を抱えている	16.3% (80校)	16.9% (100校)
アトピー性皮膚炎疑いで湿疹がある	15.1% (74校)	16.4% (97校)
頭痛を訴えて保健室に頻繁に来室	10.8% (53校)	6.3% (37校)
低栄養児童・生徒の増加	9.0% (44校)	4.6% (27校)
脊柱側弯症が年々増加	3.1% (15校)	4.6% (27校)
その他	26.8% (129校)	28.2% (167校)

健診当日欠席、「不登校」の児童・生徒に対する学校健診について、別途健診受診できている児童・生徒数

	受診（再掲）	欠席	受診できている	受診できていない
歯科	1,208,755 人	45,259 人 3.6%	13,703 人 30.3%	28,434 人 62.8%
眼科	907,412 人	36,056 人 3.8%	9,716 人 26.9%	23,316 人 64.7%
視力	1,229,529 人	21,071 人 1.7%	9,810 人 46.6%	9,693 人 46.0%
耳鼻科	773,122 人	27,804 人 3.5%	7,532 人 27.1%	17,594 人 63.3%
聴力	925,423 人	15,003 人 1.6%	7,002 人 46.7%	6,473 人 43.1%
内科	1,218,301 人	37,095 人 3.0%	13,215 人 35.6%	21,104 人 56.9%
運動器	1,075,178 人	31,326 人 2.8%	10,968 人 35.0%	17,764 人 56.7%

欠席した児童・生徒で口腔崩壊 458 人 1.0%

学校で検診を受けた児童・生徒で口腔崩壊状態（再掲）2,292 人 0.19%

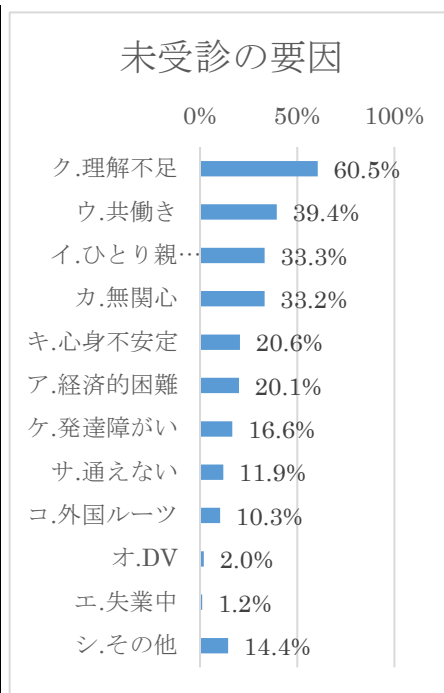
▼児童・生徒の未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況をお答えください。（複数選択可）

▼未受診事例（「回答有」3416校、「無回答」1205校）

前回調査との比較（－は調査時選択肢なし）

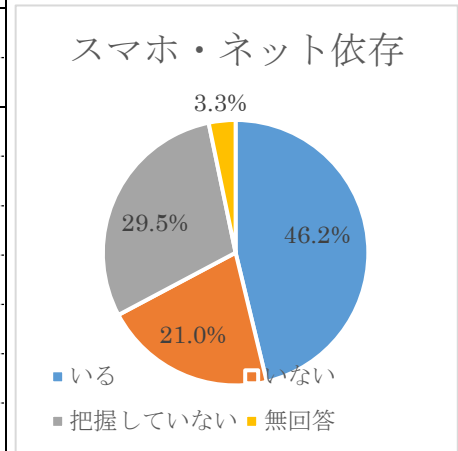
無回答を除いた学校数（25年度3542校、20年度3740校）で割合を算出

	2025年度	2020年度
理解不足	60.5% (2142校)	56.8% (2125校)
コロナによる受診控え	－	46.8% (1750校)
共働き	39.4% (1396校)	32.1% (1202校)
ひとり親家庭	33.3% (1178校)	25.2% (943校)
無関心	33.2% (1175校)	27.2% (1018校)
保護者の心身不安定	20.6% (730校)	9.6% (360校)
経済的困難	20.1% (711校)	20.9% (780校)
児童・生徒に発達障がいがある	16.6% (588校)	7.1% (267校)
医療機関が遠く通えない	11.9% (422校)	－
外国にルーツがある	10.3% (366校)	5.4% (201校)
保護者によるDV	2.0% (72校)	1.3% (50校)
失業中	1.2% (41校)	0.5% (18校)
その他	14.4% (510校)	13.1% (490校)

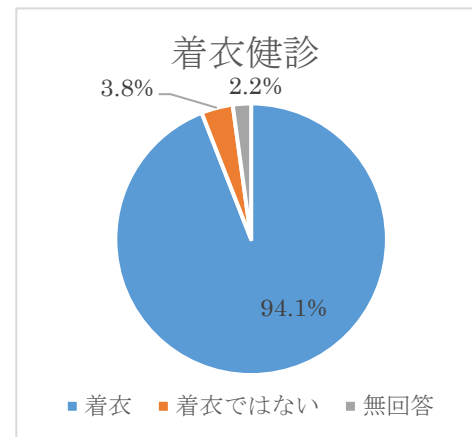


▼スマートフォン・ネット依存（SNSやゲーム含む）で学校生活に支障を来している（遅刻・欠席・居眠り・学業に身が入らないなど）と見られる児童・生徒はいますか。

	いる	いない	把握していない	無回答	いる場合の人数
全数	2212 46.2%	1005 21.0%	1412 29.5%	156 3.3%	8415
小学校	1040 42.3%	669 27.2%	667 27.1%	83 3.4%	3077
中学校	789 57.8%	181 13.3%	367 26.9%	27 2.0%	3569
高校	256 40.3%	64 10.1%	285 44.8%	31 4.9%	1280
特別支援 学校	79 34.1%	69 29.7%	74 31.9%	10 4.3%	207
義務教育 学校	25 53.2%	12 25.5%	8 17.0%	2 4.3%	127



▼脊柱及び胸郭、皮膚疾患、心臓の健診項目について、健診を着衣で行っていますか



▼側弯症検診に視診や触診以外に検査機器（三次元モアレ撮影等）を使用していますか。

